

生活科学習指導案

1. 日 時 平成 26 年 (2014 年) 6 月 27 日 (金) 5 校時

2. 学年・組 第 2 学年

3. 場所

4. 単元名 「野比の町探検」

5. 単元目標 地域の人たちと積極的にかかわりを深めたり、公共物や公共施設を安全に気を付けて正しく利用したりして、地域の人や場所に愛着を深める。また人々と適切に接することや安全に生活できるよう支えてくれている人々に関心をもつことができるとともに、人々に適切に接することや安全に生活することができる。

6. 評価規準

【生活への関心・意欲・態度】

- ①地域の人々の様子や様々な場所について、見たり調べたりしようとしている。
- ②地域の一員としてマナーを守り、安全に気を付けて活動しようとしている。
- ③地域の人々や場所に親しみや愛着をもち、繰り返し関わろうとしている。

【活動や体験についての思考・表現】

- ①自分の思いや考えを持って、インタビューしたいことを考えている。
- ②町探検で気が付いたことや、知ったことを、自分なりの方法で表現している。

【身近な環境や自分自身への気付き】

- ①地域で生活したり、働いたりしている人々や様々な場所が自分たちの生活を支えていることに気付いている。

7. 単元について

本単元は、内容（１）、（３）を中心にして展開したものである。

野比の町を新たな視点をもって見つめることで、自分の住む町の良さに気付き、愛着を深めてほしい。【子ども 110 番の家】のマークをきっかけに、そのマークの裏にある、子どもたちの安全を見守るボランティアの存在や、そのような人たちの「守りたい」という思いを子どもたちに感じ取らせたい。さらに、自分自身も安全に生活できるようにすることが大切であることに気付かせ、学校生活だけではなく、学校外でも安全に生活しようとする態度を育てたい。

8. テーマを具現化するための手立て

テーマ 「豊かな学びを創り出す のびっ子の育ち」

サブテーマ 「子どものおもいに寄り添った主体的な問題解決を目指す授業づくり」

（１）実体験の重視

目的意識を明確に持たせ、町探検に何度も出かけることで、児童に意欲を持たせたい。特に、導入場面で、野比の町の随所にある【子ども 110 番の家】のマークを提示し、興味を持って町を歩き探し、そのステッカーの意味や貼ってあるお店の人々の思いを知りたい、と意欲を持たせる。

（２）言語活動の重視

町探検の様子の写真を提示し、児童が活動をふり返りしやすいようにする。そして、探検を通して「知りたい」ことを付箋に書き、それを紙に貼りながら班で発表会を行う。交流することで児童が「知りたい」という主体的な姿勢を促し、また、情報を共有することで、自分の意見を持つことが厳しい児童でも、「知りたい」ことを持つことができるようになる。

9. 指導計画（全12時間）

教師の投げかけ

ねがい

児童の予想

気付き

学習活動の流れ	時間	教師の指導・支援	評価の観点と方法
<p>①</p> <p>町で見かけるこのマークは何でしょう。</p> <p>C：見たことあるよ。知ってる。 C：家の近くにあるよ。いろいろな所にたくさんあるよ。 C：こども110番のマークだよ。 C：不審者にあったら逃げ込むんだよ。 C：ぼくたちの町にはいくつくらいあるのかな。</p> <p>C：町に出かけて、マークを見に行きたい。</p>	12	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を始める前、教師が町を歩き、子ども110番の家のマークの写真を撮影しておく。 ・子ども110番のマークの写真を提示する。 ・通学路の様子を想起させる。 	<p>【関・意・態①】 地域の人々の様子や様々な場所について、見たり調べたりしようとしている。</p>
<p>②③</p> <p>探検してしらべましょう。(2回)</p> <p>C：学校を出てすぐに見つけた。 C：次々に見つかるよ。 C：わたしたちの町には、110番のマークがたくさんあるんだね。</p> <p>・探検で見つけたことをマップに記して、記録する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・地図を示し、探検コースを話し合いで決める。 ・安全指導を行う。 ・振り返りカードに記入させる。 	<p>【関・意・態①】 地域の人々の様子や様々な場所について、見たり調べたりしようとしている。</p> <p>【関・意・態②】 地域の一員としてマナーを守り、安全に気を付けて活動しようとしている。</p>
<p>④</p> <p>発見カードにメモしたことを発表しましょう。</p>	本時	<ul style="list-style-type: none"> ・110番の家の印に違いがあることに興味がいくように写真を掲示する。 	<p>【思考・表現①】 自分の思いや考えを持って、インタビューしたいことを考えている。</p>

<p>C：学校を出て目の前にあった。</p> <p>C：自転車屋さんにあったマークは少し違うマークだった。</p> <p>C：車屋さんにはマークが2つもあった。</p> <p>C：他にもマークってあるのかな。</p> <p>C：実際にマークのついているお店に駆け込んだ人はいるのかな。</p> <p>C：<u>どうしてマークをつけてくれているのか。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの発言を板書にカテゴリーごとに整理する。 • 机間指導をしながら、したいことが見つからない児童にはアドバイスする。 	
<p>⑤</p> <p>インタビューの準備をしよう。</p> <p>C：何を聞こうかな。</p> <p>C：いくつくらい聞こうかな。</p> <p>C：聞き方はどうすればいいのかな。</p> <p>C：インタビューの練習をした方がいいな。</p> <p>C：こども110番のマークをつけている人に何ではってくれるのかきいてみたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • インタビューの仕方を指導する。 • インタビューの内容を決める。 • 人の気持ちに迫れるような質問を考えさせる。 	<p>【思考・表現①】</p> <p>自分の思いや考えを持って、インタビューしたいことを考えている。</p>
<p>⑥</p> <p>インタビューをしに行こう。</p> <p>C：本当に子どもが逃げ込んできたことはありますか？</p> <p>C：どうして子ども110番の家になったのですか？</p> <p>C：いつからマークを貼っているのですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 安全指導を行う。 • インタビューをする時の、マナーを指導する。 • 振り返りを書かせる。 	<p>【関・意・態②】</p> <p>地域の一員としてマナーを守り、安全に気を付けて活動しようとしている。</p>

<p>C : きけんを感じた時は飛びこんでい いんだな。</p> <p>C : 守ってくれるってすごいな。</p> <p>C : 家族や学校以外でも、わたしたち のことは守ってくれている人が いるんだね。</p>		
<p>C : 他にも、わたしたちを守ってくれ ている人っているのかな。</p> <p>C : 朝、旗振りをしている人も、守っ てくれているのかな。聞いてみた い。</p>		
<p>⑦</p> <p>旗振りをしている人にもインタビュー しよう。</p> <p>C : どうして旗振りをしているのです か？</p> <p>C : いつから旗振りをしていますか？</p> <p>C : 1 週間にどのくらい行っています か？</p> <p>C : どんなことを思いながら旗をふっ ていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューし てきたことを 共有化する。 ・子ども 110 番の 家以外にも目 を向けさせる ようにする。 ・交通指導員さん の気持ちに迫 れるようにす る。 ・安全指導をす る。 	<p>【関・意・態②】 地域の一員として マナーを守り、安 全に気を付けて活 動しようとしてい る。</p>
<p>⑧</p> <p>交番や消防署もみんな安全な暮らしを 守ってくれている。</p> <p>C : 交番のおまわりさんが、朝、横断歩 道に立っているのを見たよ。</p> <p>C : 消防署の人も、すぐに救急車や消防 車で助けに来てくれると思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューし たことを共有 する。 	<p>【気づき①】 地域で生活した り、働いたりして いる人々や様々な 場所が自分たちの 生活を支えている ことに気付いてい る。</p>

<p>⑨⑩⑪</p> <p>調べたことをみんなにも教えよう。</p> <p>C：誰につたえようかな。 C：お家の人や他の学年の人にも教えたいな。 C：絵本にまとめたいな。 C：大きな紙に書きたいな。 C：写真も使いたいな。 C：旗振りの方や、子ども 110 番の方にも発表したい。 C：お礼の言葉の伝えたいな。</p> <p>C：自分の家族以外にも、わたしたちはたくさんの人たちに守られているんだな。 C：自分たちも、心配かけないように、安全に気を付けて生活するようにしたい。</p> <p>⑫</p> <p>お世話になった方を招待して、まとめたことを発表しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返り、誰に伝えるか考えさせる。 ・様々な使い方を教える。 	<p>【思考・表現②】</p> <p>町探検で気が付いたことや、知ったことを、自分なりの方法で表現している。</p> <p>【思考・表現②】</p> <p>町探検で気が付いたことや、知ったことを、自分なりの方法で表現している。</p>
---	--	---

10. 本時計画 (4/12時間)

(1) 本時目標

- ・【子ども 110 番の家】のマークについて調べたいことを考える。

(2) 本時の流れ

学習活動 C: 子どもの予想される反応	教師の指導・支援	評価 (方法)
<p>○ 前時に探検してきたことを振り返り、子ども 110 番の家の存在を再確認する。</p> <p>C: 子ども 110 番の家の印を探した。 C: 野比のパン屋さんのところにあった。 C: ちょっと違う絵の 110 番の家の印があった。 C: 同じ意味なのに絵が違う場所があった。 C: 何で貼ってあるんだろう。 C: いつから貼っているんだろう。 C: どんな気持ちで貼っているのかなあ。 C: 他にも同じ意味なのに違うマークってあるのかなあ。 C: 本当に駆け込んだ子どもっているのかなあ。</p>	<p>・ 110 番の家の印に違いがあることに興味がいくように写真を掲示する。</p> <p>・ 子どもの発言を板書にカテゴリーごとに整理する。</p>	<p>自分の思いや考えを持って、インタビューしたいことを考えている。</p>
<p>子ども 110 番のマークについて、知りたいと思うことを書いてみよう。</p>		
<p>C: 子ども 110 番の家になるにはどうするのだろう。 C: 何種類かあるのはなぜなのか。 C: 本当に駆け込んでいいのか。 C: 本当に駆け込んだ人はいるのかな。 C: どうしてマークをつけてくれているのか。 C: 子ども 110 番の家になるには、どうしたらなれるのかな。 C: こんなにたくさんのマークがあるのはなぜなのかな？</p>	<p>・ 机間指導をしながら、したいことが見つからない児童にはアドバイスする。</p>	<p>【思・表①】 (発言分析・記録分析)</p>

1 1. 修正本時案 (4/1 2 時間)

(1) 本時目標

・【子ども 110 番の家】のマークについて調べたいことを考える。

(2) 本時の流れ

学習活動 C: 子どもの予想される反応	教師の指導・支援	評価 (方法)
<p>○ 前時に探検してきたことを振り返り、子ども 110 番の家の存在を再確認する。</p> <p>C: 子ども 110 番の家の印を探した。 C: 野比のパン屋さんのところにあった。 C: ちょっと違う絵の 110 番の家の印があった。 C: 同じ意味なのに絵が違う場所があった。 C: 何で貼ってあるんだろう。 C: いつから貼っているんだろう。 C: どんな気持ちで貼っているのかなあ。 C: 他にも同じ意味なのに違うマークってあるのかなあ。 C: 本当にかげこんだ子どもっているのかなあ。</p>	<p>・ 110 番の家の印に違いがあることに興味がいくように写真を掲示する。</p> <p>・ 子どもの発言を板書にカテゴリーごとに整理する。</p>	<p>写真の厳選がポイント！ 発見した事にしぼる！</p>
<p>子ども 110 番のマークについて、知りたいと思うことを書いてみよう。</p>		
<p>C: 子ども 110 番の家になるにはどうするのだろう。 C: 何種類かあるのはなぜなのか。 C: 本当に駆け込んでいいのか。 C: 本当に駆け込んだ人はいるのかな。 C: どうしてマークをつけてくれているのか。 C: 子ども 110 番の家になるには、どうしたらなれるのかな。 C: こんなにたくさんのマークがあるのはなぜなのかな？</p>	<p>・ 机間指導をしながら、したいことが見つからない児童にはアドバイスする。</p>	<p>自分の思いや考えを持って、インタビューしたいことを考えている。</p> <p>【思・表①】 (発言分析・記録分析)</p>

C: みんなを助けるために貼っているんだよ。

C: 子どもを守ってあげたいと気持ちで貼ってくれているのではないか。

のびの町たんけん

①ピエールくんをさがすたんけん

②たんけんではなにかをさがそう。

アメリカにもあるのかな。
子ども110番の家になるにはどうするのだろう。
本当にかいこんでいいのかわ。
ラクをつけたのはなぜか。
みんなたんけんラクがあるのはなぜかな。

ピエールくんはあつた。
店の下にあつた。
ドアの近くにはあつた。
机のそばにはあつた。

ちがうラクの
絵があつた。
パイカの
ラクはハートだつた。

みんなたんけんはあつた。
家より店が多かつた。
みんなたんけんはあつた。

第1回 授業研究 第2学年「野比の町探検」 成果と課題

低学年ブロック

■成果

- 子どもに問題を持つだけの情報を与え、交換させることにより問題が生まれる。(ねがいをもつための授業構成)
- 「見つけたこと＝事実」を情報交換するなかで全員が共有し、そこから問題意識や願いを持たせることができた。
- 学級経営の充実が、授業に反映していた。
- 学級経営がしっかりできていると、子どもに学びに向かう力を付けることができる。
- 子どもの考えを整理する際に、板書計画は有効だ。
- 活動を振り返る時、写真を用いたことはよかった。

⇒キーワード

子どもが問題を持つだけの情報・学級経営

■課題

- 振り返りの場面で、写真を用いるときには、迫りたい内容に合わせて情報を選ぶことが大切である。
- 前時の活動を振り返らせるための写真の提示では、ねらいに迫るために有効な写真を厳選する。
- 板書のカテゴリー整理をする。
- 最後、プリントに書かせる時間をもっと確保する。そのために、全体の時間配分に気を付ける。

⇒キーワード

ねらいに迫るための具体物